

令和 8 年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	国語	グループ名	Cグループ	年間授業時数	175 単位時間
年間指導目標	(知)日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (思)「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。 (学)言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	生井 恭子 多島 康美				
使用教科書	新しい国語5（東京書籍）				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	「人物の心情を音読で伝えよう」	9	・登場人物の心情やその変化を音読で表現する。	(知) 自分が思ったことや考えたことを踏まえて、音読している。 (思) 「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えている。 (主) 進んで登場人物の心情が変化していく様子を読み取り、音読で表現しようとしている。
		「知りたいことを聞き出そう」	6	・インタビューなどをして必要な情報を集める。	(知) 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 (思) 「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 (主) 進んでインタビューをして話を聞き出し、学習の見通しを持って必要な情報を集めようとしている。
	5	「要旨をまとめ、自分の考えを伝えよう」	7	・説明的な文章を読み、分かったことや考えたことを話し合う。	(知) 文章の構成や展開について理解している。 (思) 「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (主) 進んで要旨を捉え、学習の見通しを持って筆者の考えに対する自分の意見を伝え合おうとしている。
		「地域のみによくを伝えよう」	8	・伝える情報を整理して、地域の魅力を紹介する文章を書く。	(知) 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 (思) 「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 (主) 進んで筋道の通った文章にするために文章全体の構成を考え、学習の見通しを持って、地域の魅力を記事にまとめようとしている。
	6	「物語の組み立てについて考えよう」	10	・物語を読み、内容を説明したり考えを伝え合ったりする。	(知) 文章の構成や展開について理解している。 (思) 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 (主) 進んで物語の全体像を捉え、学習の見通しを持って具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしようとしている。
	7	「書き手の意図を考えよう」	9	・二つの新聞記事を読み比べて考えたことを伝え合う。	(知) 情報と情報との関係づけの仕方を理解している。 (思) 「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (主) 進んで記事の書き手の意図を読み、学習の見通しを持って、二つの新聞記事を読み比べて考えたことを話し合おうとしている。
	二 学 期	9	「問題を解決するために話し合おう」	11	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う。
「物語のおもしろさを解説しよう」			7	・物語を読み、内容を説明したり、物語のおもしろさについて考えたことを伝え合ったりする。	(知) 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 (思) 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 (主) 進んで意図を明確にしながら計画的に話し合い、学習の見通しを持ってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
10 前半		「文化を受けつぐことについて考えよう」	7	・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合う。	(知) 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 (思) 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つたり、論の進め方について考えたりしている。 (主) 進んで情報を重ね合わせて読み、学習の見通しを持って自分の考えを交流しようとしている。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	「和の文化を発信しよう」	9	・文章と図表の特徴を踏まえてポスターを作る。	(知) 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使っている。 (思) 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 (主) 進んで目的に応じて情報を関係づけ、学習の見通しを持ってポスターで発信しようとしている。
	11	「人物像について考えたことを伝え合おう」	15	・物語を読み、人物像について考えたことを伝え合う。	(知) 文章の構成や展開について理解している。 (思) 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 (主) 進んで人物の心情を読み取って人物像を捉え、学習の見通しを持って、考えたことを伝え合おうとしている。
	12	「日本語と外国語」	9	・考えたり調べたりしたことをカードにまとめる。	(知) 文の中での語句の係り方や語順について理解している。 (思) 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 (主) 進んで日本語の特徴について理解し、学習課題に沿って、日本語と外国語の特徴をまとめようとしている。
三 学 期	1	「ロボットとの未来について考えよう」	10	・複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことをまとめる。	(知) 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 (思) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (主) 進んで二つの文章から多角的に捉え、学習の見通しを持って、自分の考えを伝え合おうとしている。
	2	「どう考える？ もしもの技術」	11	・反対意見を予想しながら意見文を書く。	(知) 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 (思) 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (主) 進んで反対意見を予想し、学習の見通しを持って、考えたことや伝えたいことを書こうとしている。
	3	「わたしの文章見本帳」	12	・これまでに書いた文章をもとに、文章見本帳を作る。	(知) 文章の種類とその特徴について理解している。 (思) 「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。 (主) 進んで目的に応じて文章を書き換え、学習の見通しを持って、文章見本帳を作ろうとしている。
そ の 他		書写	35		
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかお題を用意し、その中から話すようにする。 ・役割音読を行い、登場人物の気持ちを理解できるようにする。 ・段落に注目して文章の組み立てが分かるようにする。 ・調べたことと自分の考えが混同しないように分けてまとめる。 ・調べ学習と連携して学習を進める。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	社会	グループ名	Cグループ	年間授業時数	100 単位時間
年間指導目標	(知)我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関りについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや洗濯・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (学)社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	生井 恭子 竹内				
使用教科書	新編 新しい社会5（東京書籍）				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「わたしたちの国土」	20	・我が国の国土の地理的環境の特色や国民生活との関連	(知) ①世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解する。 ②我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解する。 ③地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめる。 (思) ①世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現する。 ②地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現する。 (主) ①我が国の国土の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	5				(知) ①我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解する。 ②食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解する。 (思) ①生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現する。 ②生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現する。 (主) ①我が国の食料生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
	6	「わたしたちの生活と食糧生産」	25	・我が国の農業や水産業	(知) ①我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解する。 ②工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解する。 ③貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解する。 ④地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめる。 (思) ①工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現する。 ②製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現する。 ③交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現する。 (主) 工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
7	(知) ①我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解する。 ②工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解する。 ③貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解する。 ④地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめる。 (思) ①工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現する。 ②製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現する。 ③交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現する。 (主) 工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。				
二学期	9	「わたしたちの生活と工業生産」	21	・自動車の生産にはげむ人々 ・日本の工業生産と貿易・運輸	(知) ①我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解する。 ②工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解する。 ③貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解する。 ④地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめる。 (思) ①工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現する。 ②製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現する。 ③交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現する。 (主) 工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
	10				(知) ①我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解する。 ②工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解する。 ③貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解する。 ④地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめる。 (思) ①工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現する。 ②製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現する。 ③交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現する。 (主) 工業生産の概要について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	11	「情報化した社会と産業の発展」	15	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化した社会と産業の発展 ・産業の発展と私たちの暮らし 	<p>(知)</p> <p>①放送、新聞などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解する。</p> <p>②大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解する。</p> <p>③聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめる。</p> <p>(思)</p> <p>①情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現する。</p> <p>②情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現する。</p> <p>(主)</p> <p>①放送などの産業と情報との関わりについて予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>
	12				
三 学 期	1	「わたしたちの生活と環境」	19	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害を防ぐ ・私たちの生活と森林 	<p>(知)</p> <p>①自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。</p> <p>②森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解する。</p> <p>③関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解する。</p> <p>④地図帳や各種の資料で調べ、まとめる。</p> <p>(思)</p> <p>①災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現する。</p> <p>②森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現する。</p> <p>③公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現する。</p> <p>(主)</p> <p>①我が国の自然災害の様子や森林の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>
	2				
	3				
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・日本地図パズルや都道府県調べなどを通して、概要を理解できるようにする。 ・自分の生活と結び付けて考えられるようにする。 ・映像や写真を取り入れ、イメージしやすくする。 ・調べたことをまとめ、発表する機会を設ける。 	

令和 8 年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5 学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	算数	グループ名	Cグループ	年間授業時数	175 単位時間
年間指導目標	(知)算数学習を進める手順や、ことばや図や式などを用いて考え、説明する仕方を知る。また、話し合いのよさなどを理解し、それらに必要な事柄を取り上げることができる。 (思)図、式、ことばなどを関連づけて考えたり、わかりやすく筋道立てて説明したりすることができる。 (学)学習の進め方に関心をもち、話し合い活動や発表に進んで取り組もうとする。学習を進める手順や話し合いの仕方などを知り、これからの学習に生かそうとする。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	多島 康美 生井 恭子				
使用教科書	わくわく算数5（啓林館）				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）	
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力	(主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	「整数と小数」	5	・記数法の仕組み	(知) 小数も整数と同じ十進位取り記数法をもとにしていることを理解し、整数や小数を10倍、100倍、1000倍した数や、1/10、1/100、1/1000にした数を求めることができる。 (思) 十進数の仕組みや表し方に着目して、整数や小数を10倍、100倍、1000倍したり、1/10、1/100、1/1000にしたりしたときの小数点の移動の仕方を考えている。 (主) 小数と整数の仕組みに進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
		「体積」	9	・体積の概念、体積の表し方や求め方	(知) 体積や容積の意味がわかり、単位「cm ³ 」「m ³ 」を知り、直方体や立方体の体積を求めることができる。 (思) 長方形や正方形の面積の求め方や公式をもとにして、直方体や立方体の体積の求め方や公式を考えたり、これを活用して簡単な複合図形の体積の求め方を工夫したりしている。 (主) 直方体や立方体の体積の表し方や求め方に進んで関わり、ふり返りを通して適切な普遍単位を用いて大きさを数値化することのよさや公式を導き活用する意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
	5	「比例」	3	・比例にもとづいたかけ算の意味の見直し、数直線図	(知) 比例の意味を知り、簡単な場合についての比例の関係を理解することができる。 (思) 簡単な場合について、比例しているかどうかを判断している。 (主) 伴って変わる2つの数量の関係に進んで関わり、ふり返りを通して比例という数量関係の特徴を見いだすことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
		「小数のかけ算」	11	・(整数)×(帯小数)の立式とその根拠、計算の仕方	(知) 小数の乗法の意味やその仕方を理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の計算においても交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを知る。 (思) 小数の乗法の意味やその仕方について、既習の整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考えている。 (主) 小数の乗法の式や計算に進んで関わり、ふり返りを通して既習の比例や整数の乗法をもとにして考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
		「小数のわり算」	12	・(整数)÷(帯小数)の立式とその根拠、計算の仕方	(知) 小数の除法の意味やその仕方を理解し、小数の除法の計算ができる。 (思) 小数の除法の意味やその仕方について、既習の整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考えている。 (主) 小数の除法の式や計算に進んで関わり、ふり返りを通して既習の比例や整数の除法をもとにして考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
	6	「割合(1)」	4	・小数倍の意味と適用	(知) 小数倍で表される数量の関係について理解し、問題を解決することができる。 (思) 図や式を使って小数倍で表される数量の関係について考えている。 (主) 割合や数量が小数で表された問題に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を小数倍で表して解決することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
	7	「合同な図形」	16	・合同な図形における構成要素の対応関係、対応することの意味、対応する構成要素の性質、合同かどうかの判断、作図	(知) 合同の意味や性質を理解し、頂点、辺、角の対応を見つけて合同な図形を作図することができる。また、三角形や四角形の内角の和についても理解している。 (思) 合同の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、合同な図形の作図の仕方や多角形の内角の和を考えたり説明したりしている。 (主) 平面図形の形や大きさに進んで関わり、ふり返りを通して構成要素に着目することのよさや三角形や四角形の場合をもとに多角形について考えていけばよいことに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
二 学 期	9	「整数」	10	・倍数、公倍数、最小公倍数の意味	(知) 偶数・奇数の意味や倍数・約数などの意味を理解し、整数の性質についての理解を深め、整数を偶数と奇数に類別したり、倍数・約数などを求めたりすることができる。 (思) 整数を偶数・奇数という観点から類別したり、倍数・約数という観点から考察したりしている。 (主) 偶数・奇数、及び、倍数・約数に進んで関わり、ふり返りを通して整数の性質に着目して多面的にとらえることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
	10 前半	「分数」	14	・約分の意味、約分の仕方、異分母分数の加減 小数・整数を分数で表す	(知) 分数の通分や約分の仕方を理解し、異分母分数の加減計算ができるようになる。 商としての分数や分数と小数・整数の関係、何倍かを分数で表すことについて理解している。 (思) 単位分数に着目して異分母分数の加法や減法の計算の仕方を考えている。 わり算の商や小数や整数、何倍かを表す数を分数で表す方法について考え、分数の意味を多面的にとらえている。 (主) 分数の相当や加減計算、分数を用いる場面に進んで関わり、ふり返りを通して通分や約分の仕方や分数の意味を多面的にとらえることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	「面積」	14	・三角形の面積公式の導出と適用	(知)底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形や四角形の面積を求めることができる。 (思)既習の面積の求め方をもとに三角形や平行四辺形などの面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりしている。 (主)三角形や平行四辺形などの面積を求める活動に進んで取り組み、ふり返りを通して面積の求め方や公式のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	11	「平均とその利用」	6	・平均の求め方、見積りの仕方	(知)平均の意味や求め方を理解し、平均を求めたり、平均を用いておよその数量を見積もったりすることができる。 (思)部分の平均を用いて、全体の量を見積もる方法や全体の平均を求める方法を考えている。 (主)数量の平均に進んで関わり、ふり返りを通して平均とそれを利用することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
		「単位量あたりの大きさ」	6	・異種の2量の一方を単位とした比較、単位量あたりの大きさ	(知)単位量あたりの大きさの意味や求め方を理解し、単位量あたりの大きさを求めたり、それを使って混みぐあいなどを比べたりすることができる。 (思)2つの数量が関係していることに着目し、混みぐあいなどの比べ方を考え、単位量あたりの大きさを使って程度の大小を表したり、判断したりしている。 (主)単位量あたりの大きさに進んで関わり、ふり返りを通して一方の量を単位として混みぐあいなどを判断することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
12	「割合(2)」	13	・全体・部分の割合 百分率等	(知)割合の意味や百分率などを用いた表し方を理解し、数量の関係を正しくとらえて割合、比べる量、もとにする量を求めることができる。 (思)数量の割合に着目し、割合を用いて複数の事象の数量の関係を比較したり、割合の和や差、積を考えたりしている。 (主)割合の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の関係を割合で表すことや何倍になるかをまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
三 学 期	1	「円と正多角形」	8	・正多角形の意味や性質について理解し、作図することができる。 円周率の意味を理解し、円の直径から円周を求めたり、円周から直径を求めたりすることができる。	(知)正多角形の意味や性質について理解し、作図することができる。 円周率の意味を理解し、円の直径から円周を求めたり、円周から直径を求めたりすることができる。 (思)円や正多角形の性質に着目し、正多角形の作図の仕方を考えている。 円周と直径の関係に着目し、帰納的に考えて円周率を見いだしたり、円周や直径の求め方を考えたりしている。 (主)正多角形や円の考察に進んで関わり、ふり返りを通して正多角形の作図の仕方や円周率のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
		「割合のグラフ」	7	・帯グラフや円グラフのかき方、考察	(知)身のまわりの事象について、データの割合を表すには帯グラフや円グラフを用いるとよいことを理解し、帯グラフや円グラフをよんだりつくったりすることができる。また、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 (思)目的にあわせて、データの収集・整理の仕方を考えたり、帯グラフや円グラフを適切に用いてデータの特徴を判断したりしている。また、得られた結果を多面的にとらえて結論について考察している。 (主)データの割合について進んで関わり、帯グラフや円グラフを使ってデータを整理することや結果を多面的にとらえることのよさに気づき、統計的な問題解決を生活や学習にいかそうとしている。
	2	「角柱と円柱」	6	・角柱と円柱の定義、弁別、特徴、見取り図	(知)角柱や円柱の意味やその特徴について理解し、角柱や円柱の見取り図・展開図をかくことができる。 (思)立体図形の構成要素に着目し、角柱や円柱の特徴や見取り図・展開図のかき方を考えている。 (主)角柱や円柱の考察に進んで関わり、ふり返りを通して立体図形の構成要素や展開図を組み立てたときに重なる点や辺に着目することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	2	「速さ」	6	・速さの意味、比べ方、道のり、時速・分速・秒速	(知)速さの意味や求め方を理解し、速さを時速、分速、秒速などの単位を用いて表したり比べたりすることができる。 (思)単位量あたりの考え方をもとに道のりと時間の関係に着目し、速さの表し方を考えたり、道のりや時間の求め方を考えたりしている。 (主)速さに進んで関わり、ふり返りを通して単位時間に進んだ道のりを速さとすることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	3	「変わり方」	10	・ $y=x+a$ や $y=a \times x$ となる関係についての考察	(知)伴って変わる2つの数量の関係を、○や△を使って式に表したり、表にかいて変わり方を調べたりすることができる。 (思)伴って変わる2つの数量を見いだして、その関係を式や表を用いて考えたり、比例するかどうかを判断したりしている。 (主)伴って変わる2つの数量の関係に進んで関わり、ふり返りを通して○や△を使ってその関係を式に表すことや表を用いて考察することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
そ の 他		予備時数	15		
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・数直線を用いる。概数の良さを感じられるようにする。 ・既習事項をもとに計算の仕方を考えられるようにする。 ・数えた資料には印を付けるようにする。 ・「1」の概念を基本に置きながら、数直線等を使って量感を掴めるようにする。 ・表を使い、増え方等の決まりを見付けられるようにする。 ・箱を展開する活動を行う。色を付けるなどして重なりを理解できるようにする。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	理科	グループ名	Cグループ	年間授業時数	105 単位時間
年間指導目標	(知)物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思)物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。 (学)物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	生井 恭子 内山 陽子				
使用教科書	新編 新しい理科5（東京書籍）				

期 月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）	
				(知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力	(主)主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4 「天気の変化」	11	・雲と天気 天気の子想	(知) ①天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 ②天気の変化は、気象情報を用いて予想できることを理解している。 ③天気の変化の仕方について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ①天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②天気の変化の仕方について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主) ①天気の変化の仕方についての事象・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
	5 「植物の発芽と生長」	16	・種子が発芽成長する条件 発芽と養分	(知) ①植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。 ②植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。 ③植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。 ④植物の発芽や成長について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ①植物の発芽や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②植物の発芽や成長について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主) ①植物の発芽や成長についての事象・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
	6 「魚のたんじょう」	10	・卵の変化の観察	(知) ①魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。 ②卵の中の変化について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ①卵の中の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②卵の中の変化について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主) ①卵の中の変化についての事象・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②卵の中の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
	7				
	9 「花から実へ」	9	・花のつくり 花粉のはたらし	(知) ①植物の花のつくりや結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②植物の花のつくりや結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (思) ①植物の花のつくりや結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②植物の花のつくりや結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主) ①植物の花のつくりや結実についての事象・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②植物の花のつくりや結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	
	10 「台風と天気の変化」	6	・台風の動きと変化 私たちのくらしと台風	(知) ①天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 ②天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 ③天気の変化の仕方について、観察などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ①天気の変化の仕方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②天気の変化の仕方について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主) ①天気の変化の仕方についての事象・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
一 学 期	10 後 半	「流れる川のはたらき」	12	・川原の石 流れる水のはたらき 私たちの暮らしと災害	(知) ①流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。 ②川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。 ③雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 ④流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ①流れる水の働きと土地の変化について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主) ①流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	11	「ものの溶け方」	16	・ものが水にとけるとき ものが水に溶ける量	(知) ①物が水に溶けても、水と物をあわせた重さは変わらないことを理解している。 ②物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。 ③物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと、また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを理解している。 ④物の溶け方について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ①物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②物の溶け方について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主) ①物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	12	「人のたんじょう」	5	・人の生命の誕生	(知) ①人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 ②胎児の母体内での成長について、調査などの目的に応じて、資料などを選択して調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ①胎児の母体内での成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②胎児の母体内での成長について、調査などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主) ①胎児の母体内での成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②胎児の母体内での成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
三 学 期	1	「電流が生み出す力」	12	・電磁石の性質	(知) ①電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解している。 ②電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻き数によって変わることを理解している。 ③電流がつくる磁力について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ①電流がつくる磁力について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②電流がつくる磁力について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主) ①電流がつくる磁力についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②電流がつくる磁力について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	2	「ふりこのきまり」	8	・ふりこの1往復する時間	(知) ①振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解している。 ②振り子の運動の規則性について、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思) ①振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②振り子の運動の規則性について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主) ①振り子の運動の規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	3				
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・観察は、形、色、大きさに着目して行うようにする。 ・生活経験やこれまでの学習から思い出し、推測できるようにする。 ・発芽と成長の様子に着目しやすいよう、動画や拡大写真を活用する。 ・魚を育てる中で、卵の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、魚の発生や成長を調べやすい環境を設定する。 ・秋のころの植物や動物の写真を提示し比較できるようにする。 ・イメージしやすい動画や拡大写真を活用する。 ・実験の初めと終わりの写真を撮り、比較できるようにする。 ・対照実験などで比較できるようにする。 ・イメージしやすい動画や拡大写真を活用する。 ・電流の大きさや向き、コイルの巻き数などに着目しやすいよう実験道具を設置する。 ・ふりが1往復する時間に着目して、おもりの重さやふりこの長さなどの条件の規則性を調べやすい実験道具を設置する。 	

令和 年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	音楽	グループ名	Cグループ	年間授業時数	50 単位時間
年間指導目標	(知)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。				
	(思)音楽表現に対する思いや意図をもつことや、音楽を味わって聴くことができるようにする。				
	(学)協働して音楽活動をする楽しさを体験することを通して、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	楠本泰周 多島康美 生井恭子				
使用教科書	小学生の音楽5(教育芸術社) 小学生の音楽6(教育芸術社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「リズムで表現しよう」 ①リリックをしよう ②特徴あるリズムや響きを表現しよう ③楽器を演奏しよう	17	・表現:手拍子でリズム、リズムで仲良くなろう ラドレの音でせんりつ作り等 ・鑑賞:トルコ行進曲、メヌエット、神田ばやし トランペット吹きの休日等 ・楽器演奏:キーボード、打楽器等	(知) 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、器楽や音楽づくりの技能を身に付けることができる。 (思) 音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりすることができる。 (主) いろいろな楽器の音色やそれらの重なりなどのよさを味わいながら表現したり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組む、様々な楽器やオーケストラの響き
	5				
	6				
	7				
二学期	9	「曲に込められた思いを感じ取り、歌声や演奏で表現しよう」 ①歌詞を読んで気持ちを歌や身体表現で表現しよう ②日本や外国の音楽を味わおう	17	・表現:赤とんぼ、風とケーナのロマンス、子もり歌、会津磐梯山/音戸の舟歌、こぎりこ節、谷茶前、地球の向こう側の君へ、冬げしき等 ・鑑賞:ユーモレスク、「水上の音楽」からアラホーンパイプ、組曲「カレリア」から「行進曲風に」等 ・楽器演奏:キーボード、打楽器等	(知) 曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (思) 音色、リズム、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。
	10				

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）	
	11				(主) 曲想の変化を感じ取って表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、他者と力を合わせて一つの音楽をつくり上げる態度を養う。	
	12					
三 学 期	1	「合奏をしよう」 ①知っている曲を演奏してみよう ②みんなで違う楽器を合わせて演奏してみよう	16	・表現:J-POP ・鑑賞:つるぎのまい、ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章等 ・楽器演奏;和太鼓 鍵盤ハーモニカ リコーダー等	(知) 曲想と音色や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けることができる。 (思) 音色、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつことができる。 (主) 思いを表現に生かす活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組もうとする。	
	2					
	3					
その他						
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・身体表現などで曲の雰囲気を感じ取れるようにする ・歌詞のある曲は、拡大した歌詞カードを用意し、確認しながら進められるようにする ・意識的に曲を聴くことができるよう鑑賞のポイントを伝える(リズム、速さ、楽器の違いなど) ・日本と外国の音楽を聴き比べ、音楽の特徴を感じ取れるようにする。 ・作者の思いや曲の情景がつかみやすいよう、写真や映像を活用する。 ・意識的に曲を聴くことができるよう鑑賞のポイントを伝える。 ・聞き馴染みのあるカノンコードを使っている曲を聴かせることで循環コードに気付けるようにする。 			

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	6学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	図画工作	グループ名	Cグループ	年間授業時数	54 単位時間
年間指導目標	(知)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (思)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (学)主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	多島 康美 生井 恭子				
使用教科書	5・6上下 開隆堂				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「季節を感じて」	4	・季節から感じたことを絵に表す	(知) 表したいことが伝わるように、色使いや筆使いを工夫することができる。 (思) 季節を感じて、表したいことや表し方を考えることができる。 (主) 季節を味わい、描くことを楽しむ。
	5	「消防写生会」	4	・消防車の写生	(知) 消防車の特徴を捉えて描くことができる。 (思) 題材を踏まえて、表したいことや表し方を考えることができる。 (主) 消防車を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	6	「ビー玉大ぼうけん」	6	・ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ	(知) ビー玉の転がり方を試しながら、コースのつくり方を工夫することができる。 (思) 光を通した感じから、つくりたいランプを考えることができる。 (主) ランプをつくり、みんなで飾って楽しむ。
	7	「すかして重ねてわたしの光」	4	・紙と光の特徴を生かして、自分が表したいランプをつくる。	(知) 紙の切り方や組み合わせなどを工夫することができる。 (思) 段ボールの特徴から表したいものを考えることができる。 (主) 段ボールをいろいろな形に変えて、つくることを楽しむ。
二学期	9	「くるくる回して」	6	・クランクの仕組みを生かして、動くおもちゃをつくる	(知) 形や色、動く仕組みづくりなどを工夫することができる。 (思) 揺れ棒の動きからおもちゃを考えることができる。 (主) 繰り返しの動きの面白さを楽しむ。
	10	「重ねて広がる形と色」	6	・彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で木版画に表す	(知) 彫刻刀の使い方や刷る色などを工夫することができる。 (思) 彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考えることができる。 (主) 彫りと刷りを繰り返して表すことを楽しむ。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
	11	「地球まるごとたからばこ」	4	・身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動する	(知) 自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫する。 (思) 材料や場所の特徴を生かして何ができるか考えることができる。 (主) 自然の材料に親しみ、友達と協力して楽しく活動する。
	12	「冬の飾り作り」	6	・冬の季節の飾りを作る	(知) いろいろな道具や材料を工夫して作ることができる。 (思) 適切な素材を考えて選択することができる。 (主) 自然の材料に親しみ、友達と協力して楽しく活動する。
三 学 期	1	「動いてクレイアニメーション」	4	・紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力してクレイアニメーションをつくったのしむ	(知) キャラクターの動かし方やコマのつながりを工夫することができる。 (思) キャラクターに合わせた動きとお話を考えることができる。 (主) 友達と協力してクレイアニメーションをつくることをたのしむ。
	2	「わたしの町のひみつ教えます」	6	・町の絵を見て、作品から想像したことや考えたり感じたりしたことを伝え合う	(知) 作品に描かれている町の様子を見て、形や色の特徴に気付くことができる。 (思) 町の作品からいろいろなことを想像して見方や感じ方を深めることができる。 (主) 互いの感じ方のよさや違いをたのしんだり味わったりする。
	3				
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・彩飾道具は児童の実態に応じて、持ち手などを工夫する。 ・書き終わらない児童は、動画・写真を見ながら描く時間を設ける。 ・コースのイメージを提示するなどして活動しやすくする。 ・イメージを広げるため動画なども活用する。 ・安全な使い方を指導する。 ・質感の異なる素材を用意し、表現の違いを意識できるようにする。 ・組み合わせしやすいよう複数の色を準備する。 ・枝や葉がある場所を数種類調べておき、選択できるようにする。 ・素材を数種類用意して、楽しみながら選択し制作できるようにする。 ・イメージを広げるため動画や画像なども活用する。 ・パワーポイント等を活用して作品を分かりやすく提示する。 ・鑑賞カードを用意して、感じたことを分かりやすくまとめられるようにする。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学部	小学部	学年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	体育	グループ名	Cグループ	年間授業時数	22 単位時間
年間指導目標	(知)各種の運動の行い方について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付ける。 (思)自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学)各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	生井恭子 多島康美				
使用教科書	新しい保健5年 6年(東京書籍)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)	
					(知)知識・技能	(思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「道具を使つての運動(授業参観発表)」	4	<ul style="list-style-type: none"> ・シュート型ゲーム ・ベースボール型ゲーム 	(知) ネット型では、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをすることができる。 (知) ベースボール型では、ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームをすることができる。 (思) ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (主) 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。	(主)主体
	5					
	6	「水泳(実施できない場合 体づくり運動)」	4	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊び(水慣れ、水中歩行、もぐる、息を吐くなど) ・浮く(背浮き、伏し浮き、けのびなど) ・泳ぐ(補助具を使ってキックやストローク等) 	(知) 手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができる。 (思) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (主) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすることができる。	(主)主体
7						
二学期	9	「表現」	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス(しかもと音頭、ソーラン節等) 	(知) 表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。 (思) 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	(主)主体
	10					

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
三 学 期	11				(主)運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすること
	12	「サーキット走 陸上」	2	・サーキット走 ・30m走 ・リレー	(知)サーキット走・30m走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすることができる。 (思)自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (主)運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。
	1	「保健」	8	・心の健康 ・けがの防止 ・病気の予防	(知)心は、さまざまな生活経験を通して年齢に伴って発達すること、また、心と体は深く影響し合っていること、不安や悩みは誰もが経験すること、それらへの対処にはいろいろな方法があることを理解し、不安や悩みを緩和するための簡単な対処を行っている。 (思)心の健康に関わることから課題を見つけ、心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処したりする視点から、解決の方法を考え、適切なものを選び、それらを表現している。 (主)学習活動に粘り強く取り組む中で、心の健康の大切さに気づき、心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処する方法を考えたりする学習活動に進んで取り組もうとしている。 (知)交通事故、身の回りの生活の危険や地震などが原因で起こるけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断のもとに安全に行動すること、環境を安全に整えること、けがなどの簡単な手当はすみやかに行う必要があることを理解し、けがなどの簡単な手当を行っている。 (思)けがの防止に関わる事象から課題を見つけ、危険の予測や回避をしたり、けがを手当したりする方法を考え、それらを表現している。 (主)学習活動に粘り強く取り組む中で、安全の大切さに気づき、けがの防止や手当についての学習活動に進んで取り組もうとしている。 (知)病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐこと、病原体に対する体の抵抗力を高めることおよび望ましい生活習慣を身につけることが必要であること、また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は健康を損なう原因となること、更に、地域において保健に関わるさまざまな活動が行われていることなどを理解している。 (思)病気の予防や回復に関わることから課題を見つけ、病気を予防する視点から解決の方法を考え、適切な方法を選び、それらを表現している。 (主)学習活動に粘り強く取り組む中で、健康の大切さに気づき、病気の発生要因や予防についての学習活動に進んで取り組もうとしている。
	2				
	3				
	3				
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・個々の課題に応じた道具を使用したり介助したりする。 ・個々の課題に応じ、補助具を使用したり介助したりする。 ・気温や水温、体調の変化に留意し、無理なく活動できるようにする。 ・ダンスの振付を、写真やイラスト、動画等を用意し、視覚的に分かりやすくする。 ・タイムを計測したり、友達と競ったりするなど、自分のスピードの変化を意識できるようにする。 ・イラストや映像を活用し、興味関心を高める。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	家庭	グループ名	Cグループ	年間授業時数	60 単位時間
年間指導目標	(知)家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思)日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価。改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学)家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	多島 康美 生井 恭子 内山 陽子				
使用教科書	新しい家庭5(東京書籍)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
					(知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「私の生活、大発見！」	5	・どのような生活をしているのかな	(知)家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることを理解している。 (思)家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
	5	「ゆでる調理でおいしさ発見」	6	・ゆでる調理をしよう	(知)ゆでる調理の計画や調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 (思)おいしくゆでる調理の計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
	6				
	7	「ひと針に心をこめて」	9	・針と糸を使ってできること	(知)手ぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 (思)生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
二学期	9	「持続可能な社会へ物やお金の使い方」	6	・物やお金の使い方	(知)物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (思)物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
	10	「食べて元気！ご飯とみそ汁」	10	・ご飯とみそ汁の調理	(知)食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切にできる。 (思)食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	11	「物を生かして住みやすく」	7	・物を生かして住みやすくしよう	(知)住まいの整理・整頓や清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切にできる。 (思)住まいの整理・整頓や清掃の仕方や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
	12	「気持ちがつながる家族の時間」	5	・家族とふれ合う時間を見つけよう	(知)家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。 (思)家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
三 学 期	1	「ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活」	12	・手作りで楽しい生活	(知)ミシンぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 (思)生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主)家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
	2				
	3				
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科学習ノートを活用して、スムーズに学習に取り組めるようにする。 ・図やイラストを使った資料を活用して、分かりやすく調理できるようにする。 ・映像資料等を活用して、分かりやすく調理できるようにする。 ・家庭でもお金の使い方を学習できるように、ワークシート等を活用する。 ・望ましくない環境のイラストと比較させて、快適に生活するために何をすべきか考えられるようにする。 ・家庭で計画できるように、ワークシート等を活用する。 ・製作キット等を活用して、スムーズに作品を作れるようにする。 		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	外国語	グループ名	Cグループ	年間授業時数	73 単位時間
年間指導目標	<p>(知)外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。</p> <p>(学)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等</p>				
担当教職員	生井 恭子				
使用教科書	CROWN Jr.5 (三省堂)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）		
					(知) 知識・技能	(思) 思考力・判断力・表現力	(主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	「Hello!」	6	・もの名前 色 形 曜日 天気 気持ち	(知) ・名前や誕生日、好きなものを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・名前や誕生日、好きなものなどについて、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 (思) ・自分のことをもっと知ってもらうために、名前や誕生日、好きなものなどについて、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・自分のことをもっと知ってもらうために、名前や誕生日、好きなものなどについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・目的意識を持って言語活動に取り組んでおり、自分のがんばりたいことを自覚している。		
	5	「My name is Jun.」	6	・名前を伝え合う 誕生日を伝え合う	(知) ・好きな教科やふだんよくすることを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・好きな教科やふだんよくすることについて、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 (思) ・自分のことをもっと知ってもらうために、好きな教科やふだんよくすることについて、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・自分のことをもっと知ってもらうために、好きな教科やふだんよくすることについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・目的意識を持って言語活動に取り組んでおり、自分のがんばりたいことを自覚している。		
	6	「I play soccer on Tuesdays.」	6	・好きな教科や、ふだんよくすることを伝え合う	(知) ・自分の名前、誕生日、ふだんよくすることなどを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・自分の名前、誕生日、ふだんよくすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す技能を身につけている。 (思) ・自分のことをもっと知ってもらうために、適した内容を選択して伝えていたり、話している内容が伝わっているか、聞き手の様子を見ながら話したりして、友だちや先生に自己紹介をしている。 (主) ・自分のことをもっと知ってもらうために、適した内容を選択して伝えていたり、話している内容が伝わっているか、聞き手の様子を見ながら話したりして、友だちや先生に自己紹介をしようとしている。 ・目的意識を持って言語活動に取り組んでおり、自分のがんばりたいことを自覚している。		
	7	「The North Wind and the Sun」	6	・世界のおはなし	(思) ・絵を見ながら物語を聞いて、内容の順番をとらえたり、情報を整理したりして、繰り返しが多い物語の内容をとらえている。 (主) ・絵を見ながら物語を聞いて、内容の順番をとらえたり、情報を整理したりして、繰り返しが多い物語の内容をとらえようとしている。		
二 学 期	9	「He is my brother.」	6	・身近な人の名前 自分との関わりを伝え合う	(知) ・友だちや家族に関して、自分とのかかわり、その人の性格や特徴などを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・友だちや家族に関して、自分とのかかわり、その人の性格や特徴などについて、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 (思) ・友だちや家族のことを知ってもらうために、その人の名前や自分とのかかわり、性格や特徴などについて、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・友だちや家族のことを知ってもらうために、その人の名前や自分とのかかわり、性格や特徴などについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・目的を達成できたかや、どんなことができたかを自覚している。		
	10	「I can jump high.」	8	・レジャーランドでできること	(知) ・できることを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・できることについて、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 (思) ・小学校生活の思い出を伝えるために、身の回りのものの変化について、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・お互いのことをもっと知るために、できることについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・目的を達成できたかや、どんなことができたかを自覚している。		

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
一 学 期	11	「She can bake cookies.」	6	・さまざまな人の職業、できること、得意なことを伝え合う。	(知) ・あこがれの人や身近な人のできることや得意なことを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・あこがれの人や身近な人のできることや得意なことについて、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 (思) ・小学校生活の思い出を伝えるために、身の回りのものの変化について、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・自分のあこがれの人や身近な人のことを知ってもらうために、その人ができることや得意なことについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・目的を達成できたかや、どんなことができたかを自覚している。
	12	「Hello, Pam! The Golden Ax」	6	・一日の生活 世界のはなし	(知) ・絵を見ながら物語を聞いて、内容の順番をとらえたり、情報を整理したりして、繰り返しが多い物語の内容をとらえている。 (主) ・絵を見ながら物語を聞いて、内容の順番をとらえたり、情報を整理したりして、繰り返しが多い物語の内容をとらえようとしている。
三 学 期	1	「It is in Fukui.」	6	・おすすめの場所と、そこでできることを伝え合う	(知) ・おすすめの場所とそこでできることを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・おすすめの場所とそこでできることについて、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 (思) ・小学校生活の思い出を伝えるために、身の回りのものの変化について、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・日本や地域のおすすめの場所に魅力を感じてもらうために、おすすめの場所とそこでできることについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・自分の課題を認識し、次にどうすればよいかを自分で決めて取り組んでいる。
	2	「I want to go to Kenya.」	6	・行きたい国と、そこでしたいことを伝え合う	(知) ・行きたい国とそこでしたいことを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・行きたい国とそこでしたいことについて、語句や表現を正しく用いて、質問したり答えたりして、伝え合う技能を身につけている。 ・行きたい国とそこでしたいことについて、語句や表現を見本を見ながら書くことができる技能を身につけている。 (思) ・自分のことを知ってもらうために、行きたい国とそこでしたいことについて、質問したり答えたりして会話を続けている。 (主) ・自分のことを知ってもらうために、行きたい国とそこでしたいことについて、質問したり答えたりして会話を続けようとしている。 ・自分の課題を認識し、次にどうすればよいかを自分で決めて取り組んでいる。
	3	「You can swim in January.」	6	・おすすめの場所とそこでできることを友だちに紹介して、 魅力を共有する	(知) ・おすすめの場所について、どこにあるか、そこで何ができるか、何をしたいかなどを伝える語句や表現の意味や働きを理解している。 ・おすすめの場所について、どこにあるか、そこで何ができるか、何をしたいかなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す技能を身につけている。 (思) ・自分のことをもっと知ってもらうために、適した内容を選択して伝えていたり、話している内容が伝わっているか、聞き手の様子を見ながら話したりして、友だちや先生に自己紹介をしている。 (主) ・おすすめの場所に魅力を感じてもらうために、絵や写真などの使い方を工夫するなどして、友だちにおすすめの場所を紹介しようとしている。 ・自分の課題を認識し、次にどうすればよいかを自分で決めて取り組んでいる。
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と外国語に違いに気づきやすいよう、目的や場面を明確にして比較するなどする。 ・動画やイラストなど多角的に活用し場面をイメージしやすくする。 ・リスニングの学習の場合は、聞き取りやすいよう周囲の環境に配慮する。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	道徳科	グループ名	Cグループ	年間授業時数	39 単位時間
年間指導目標	(知)善悪の判断や誠実な心を養う。また、節度ある生活で、個性を伸ばす。				
	(思)周囲の人との関わりの中で、親切心や感謝の気持ちをもつ。				
	(学)社会や集団の関わりの中で、道徳的な判断力を育てる。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	生井 恭子				
使用教科書	小学 どうとく ゆたかな心 5年(光文)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	「友情、信頼」	3	・友情を深め、信頼関係を築く	(知)互いのよいところを認め、相手の考えを取り入れることで、よりよい友達関係が築けることが分かる。 (思)友達どうしが互いに認め合い、支え合うことで友情を深めた姿によさを感じる。 (主)自分も周りにいる友達とよりよい関係を築いていこうとする。
	5	「自然愛護」	4	・自然を大切にするとはいか考える	(知)動物と植物が共存していることや、自然環境を守ってきたことを理解する。 (思)動植物が、広大な自然環境を守っているという自然の仕組みのすばらしさを感じる。 (主)美しい風景や大自然を生み出している自然の仕組みに畏敬の念をもち、自然環境を大切にしようとする。
	6	「生命の尊さ」	7	・いのちのつながり	(知)命を支える人たちの思いから、命はかけがえのないものだということが分かる。 (思)全ての人がもつ「生きようとする力」のすばらしさを感じる。 (主)笑顔で支え合い、高め合って、自分の命を輝かせようとする。
	7	「国や郷土を愛する態度」	3	・郷土を愛するとは何か考える	(知)わが国や郷土の伝統や文化は、先人の思いや努力によって守られていることが分かる。 (思)郷土の誇りとなっているものに対する先人たちの努力や思いに共感する。 (主)郷土の誇りとなるものを見つけ、自分との関わりを考え、国や郷土を大切にしようとする。
二 学 期	9	「個性の伸長」	3	・自分らしさとは何か考える	(知)自分の特徴を知ることが、短所を改め長所を伸ばすことにつながる事が分かる。 (思)自分の特徴を知り、長所を伸ばすことで成長した生き方のよさを感じる。 (主)自分の長所を伸ばし、長所を改め、自分の成長につなげようとする。
	10	「規則の尊重」	4	・決まりは何のため	(知)きまりの存在意義について主体的に考え、理解を深めている。 (思)きまりを守ることの意義について、登場人物の考えに共感する。 (主)きまりを守るための自分の課題を考え、きまりを守っていこうとする。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
	11	「家族愛、家庭生活の充実」	3	・家族の良さを考える	(知)自分が家族のことでよく知らないこともあることが分かる。 (思)家族のことをよく知っている人のことを、すばらしいと考える。 (主)家族について調べ、家族の思いや願いについて考えることで、家族のために何かしようとする。
	12	「礼儀」	3	・日本の心とかたち	(知)礼儀には、時と場、相手に応じた仕方があり、心とかたちが一つになると美しいことが分かる。 (思)真心をもって、礼儀正しく人に接する姿に共感する。 (主)日常生活で、心とかたちを一つにして、礼儀正しく真心をもって人に接しようとする。
三 学 期	1	「感謝」	3	・ありがとうの心	(知)人は周囲の人に支えられて生活していることが分かる。 (思)支えてくれている周囲の人の思いに心が動く。 (主)人のためになる、自分にもできそうなことを考え、実践しようとする。
	2	「公正、公平、社会正義」	3	・正義を貫いた偉人を知る	(知)差別や偏見をなくすことが、正義の実現のために大切だということが分かる。 (思)公正、公平なよりよい社会の実現に向けて、行動した人の思いに共感する。 (主)自分には何ができるのかを問いかけながら、だれにでも公正、公平に接し、正義の実現に向けて努力しようとする。
	3	「国際理解、国際親善」	2	・世界を知ろう	(知)日本と同様に、外国にもさまざまなよさがあることが分かる。 (思)外国の人々に、日本のよさを知ってもらいたいと感じる。 (主)日本人として、世界の人々と仲良く生活していきたいと考える。
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・絵本等を活用し、イメージしやすいようにする。 ・ワークシートを使って、自分のことを振り返られるようにする。 ・飼育の経験を通して感じたことと結び付けた発問をする。 ・日本の昔遊びや海外の人と触れ合う経験を設ける。 ・ロールプレイングを設定し、物語の役になりきる場面を作り、具体的に考えられるようにする。 ・自分のことや家族のことを振り返るワークシートを使用し、整理できるようにする。 ・具体的な場面を設定して演じてみる。 ・心情理解の学習を国語の学習と結び付ける。 ・状況がイメージしにくい内容や、映像資料が有効と思われる場合には、適宜視聴覚機材を活用する。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	総合的な学習の時間	グループ名	Cグループ	年間授業時数	70 単位時間
年間指導目標	(知)探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解することができる。 (思)実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする事ができる。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	生井 恭子 多島 康美				
使用教科書					

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点） （知）知識・技能 （思）思考力・判断力・表現力 （主）主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「話し合って気持ちよい環境をつくろう」	20	• どのような環境がよいか考え、話し合う	(知) 友達同士互いに関わりながら話し合うことができる。 (思) 問題状況の中から課題を発見し、設定することができる。 (主) 探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。 (知) 友達同士互いに関わりながらルールを決めてゲームを楽しむことができる。 (思) ゲームを進める上で生じる問題の解決の方法や手順を考えることができる。 (主) 友達と協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとする。
	5	「作戦を考えてゲームを楽しもう」		• ルールのあるゲームを楽しむ	
	6				
	7				
二学期	9	「社会見学に向けての事前学習と事後学習」	30	• 社会見学についての調べ学習を事前に行い、社会見学後にはスライド等に調べて分かったことをまとめて発表する	(知) 社会見学に向けて、必要な情報を集めて調べることができる。 (思) 相手や目的に応じ分かりやすくまとめ・表現をすることができる。 (主) 自らすすんで情報を集め、相手に向けて発信しようとする。 (知) 防災や地球環境に関して、必要な情報を集めて調べることができる。
	10	「防災や地球環境について知ろう」		• 防災や地球環境についての調べ学習を行う	

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
	11				(思) 知りたいと思った情報を、図書館資料やインターネット、インタビュー等で調べ、伝えたいことをまとめることができる。 (主) 探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組もうとする。
	12				
三 学 期	1	「自分の進路を考えよう」	20	・自分の進路のイメージづくり ・中学部授業見学	(知) 進学や就職のためにどのような準備が必要か情報を集めて調べることができる。 (思) 情報収集の手段を選択することができる。 (主) 探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望などをもとうとする。 (知) 学習した成果を相手に分かりやすく伝えることができる。 (思) 相手や目的に応じ分かりやすくまとめ・表現をすることができる。 (主) 探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとする。
	2	「学習発表会をしよう」		・学習発表会をしよう	
	3				
そ の 他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を児童が話し合いを通して決めるようにする。 ・図や写真等、視覚教材を用いて理解を深める。 ・他学部の教員とも連携し、授業計画を綿密に立てる。 ・今後、自分がどのような力をつけたら良いかを考えるきっかけを作る。 ・中学生になったことを想像しながら見学するようにする。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	特別活動	グループ名	C	年間授業時数	55 単位時間
年間指導目標	(知)集団の活動の中で、友達を意識する。 (思)普段と異なる環境を受け止め、集団で活動することの楽しさを味わう。 (学)教職員や友達との交流を通して、よりよい人間関係を育て、社会性を育む。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:佐藤美玖 生井恭子 増子京華 望月稔也 阿部華子 学校介護職員:田村千恵 伊藤方美 河室里英				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	始業式 学年活動	7	○新入生歓迎会準備、始業式、学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の始まりに意識を向ける。	(知) 大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見たり聞いたりする。 (思) 日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮する。
	5	新入生歓迎会 学年活動 クラブ活動	2	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。	(知) 大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見たり聞いたりする。 (思) 日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮する。 (主) 他の学年の児童にも気持ちを向け、集団活動を楽しむ。
	6	学年活動 クラブ活動 移動教室事前・事後学習	16	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。	(知) 他のグループの友だちに意識を向ける。 (思) 教職員や友達とのやりとりを通して、自分の気持ちを伝えようとする。 (主) 同学年の友達と交流を図り、集団活動を楽しむ。
	7	学年活動 クラブ活動 移動教室事後学習 終業式	3	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。	(知) 大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見たり聞いたりする。 (思) 日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮する。
二 学 期	9	始業式 学年活動 クラブ活動	4	○終業式、学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の終わりに意識を向ける。	(知) 大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見たり聞いたりする。 (思) 日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を発揮する。
	10 前半	学年活動 クラブ活動	4	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。	(知) 他のグループの友だちに意識を向ける。 (思) 教職員や友達とのやりとりを通して、自分の気持ちを伝えようとする。 (主) 同学年の友達と交流を図り、集団活動を楽しむ。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	学年活動 クラブ活動	3	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心を持ち、児童 同士の交流を深める。	(知)他のグループの友だちに意識を向ける。 (思)教職員や友達とのやりとりを通して、自分の気持ちを 伝えようとする。 (主)同学年の友達と交流を図り、集団活動を楽しむ。
	11	学年活動 クラブ活動 虹輝祭	2	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心を持ち、児童 同士の交流を深める。	(知)大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見 たり聞いたりする。 (思)日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を發揮す る。
	12	学年活動 クラブ活動 終業式	5	○終業式、学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の終わりに意識を向ける。	(知)大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見たり聞 いたりする。 (思)日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を發揮する。 (主)他の学年の児童にも気持ちを向け、集団活動を楽しむ。
三 学 期	1	学年活動 クラブ活動	4	○始業式、学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の始まりに意識を向ける。	(知)他のグループの友だちに意識を向ける。 (思)教職員や友達とのやりとりを通して、自分の気持ちを 伝えようとする。 (主)同学年の友達と交流を図り、集団活動を楽しむ。
	2	学年活動 クラブ活動	1	○学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心を持ち、児童 同士の交流を深める。	(知)大きな集団の雰囲気を感じながら、気持ちを向けて見 たり聞いたりする。 (思)日々練習する中で見通しをもち日頃の成果を發揮す る。
	3	学年活動 クラブ活動 修了式	4	○修了式、学年活動、クラブ活動 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆他校の児童との友達関係を広げる。 ◆学期の終わりに意識を向ける。	(知)他のグループの友だちに意識を向ける。 (思)教職員や友達とのやりとりを通して、自分の気持ちを 伝えようとする。 (主)同学年の友達と交流を図り、集団活動を楽しむ。
そ の 他		芸術鑑賞教室 移動動物園		(知)普段と異なる環境を受け止め、活動に意識を向けることができる。 (思)周りの大人に自分気持ちを伝えることができる。 (主)集団の中で活動を楽しんだり主体的に参加したりする。	
指導の工夫 学習時の配慮事項等			事前学習や視覚的な支援を行い見通をもてるようにする		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	5学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動	グループ名	Cグループ	年間授業時数	70 単位時間
年間指導目標	(知)日常生活に必要な体力を身に付ける。 (思)自分の身体の状態を知り、機能の維持・向上させるための取り組みを考えることができる。 (学)介助や自分の希望などを伝える時に、丁寧な言葉遣いで話そうとすることができる。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	福永映子 藤原千嘉 多島康美 生井恭子				
使用教科書					

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点） （知）知識・技能 （思）思考力・判断力・表現力 （主）主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう」 「丁寧な言葉遣いで話そう」	25	・ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、身体の使い方のイメージ作り、持久力の向上など ・支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い方	(知)日常生活に必要な体力を身に付ける。 (思)自分の身体の状態を知り、機能の維持・向上させるための取り組みを考えることができる。 (主)介助や自分の希望などを伝える時に、丁寧な言葉遣いで話そうとすることができる。
	5				
	6				
	7				
二学期	9	「自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう」 「丁寧な言葉遣いで話そう」	25	・ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、身体の使い方のイメージ作り、持久力の向上など ・支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い方	(知)日常生活に必要な体力を身に付ける。 (思)自分の身体の状態を知り、機能の維持・向上させるための取り組みを考えることができる。 (主)介助や自分の希望などを伝える時に、丁寧な言葉遣いで話そうとすることができる。
	10前半				

期	月				
二学期	10 後半				
	11				
	12				
三学期	1	「自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう」 「丁寧な言葉遣いで話そう」	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、身体の使い方のイメージ作り、持久力の向上など ・支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い方 	(知) 日常生活に必要な体力を身に付ける。 (思) 自分の身体の状態を知り、機能の維持・向上させるための取り組みを考えることができる。 (主) 介助や自分の希望などを伝える時に、丁寧な言葉遣いで話そうとすることができる。
	2				
	3				
その他					
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動担当の教員と相談しながら取り組む。 ・必要に応じて個別のメニュー表を作り見通しをもって取り組めるようにする。 ・意欲的に取り組めるように、ゲームの要素などを取り入れる。 	